










生活科学科 生活科学専攻 資格取得のためのてびき(大学での取得資格)

資格	概要・本専攻で育てる人材	履修が必要な科目	取得のためのスケジュール				めざせる職業・備考
			1年	2年	3年	4年	
中・高教諭 1種免許 (家庭)	<p>中学校・高等学校で教員として働くために必要な免許です。</p> <p>*高度な専門性と実践的指導力、豊かな人間性と正しい判断力を備えた人材を育成します。</p> <p>*「教員になりたい!」と強い意志を持てるようにバックアップします。</p>	<p>教科及び教科の指導法に関する科目(家庭)と教育の基礎理解に関する科目等を履修</p> <p>・教科及び教科の指導法に関する科目 (中28単位 高24単位) (家政学概論 家庭管理学 家族関係学 被服学概論 被服構成実習 食品学概論 栄養学概論 調理学実習 I 住居学概論 保育・家庭看護学 家庭科教育法 等)</p> <p>・教育の基礎理解に関する科目等 (中29単位 高25単位) (教育原理 教師論 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 教育実習 等)</p> <p>これ以外に、日本国憲法 スポーツと健康 外国語などの履修が必要です。</p>	↓	<p>介護等体験 (中のみ)</p> <p>実習費:学校 20,000円 介護等体験 15,000円 申請費用:3,500円(1免許につき)</p> <p>↓</p>	↓	<p>教育実習</p> <p>↓</p> <p>申請手続き</p>	<p>採用試験に合格すると、公立の中学や高等学校の家庭科教員として働くことができます。採用試験に受からなくても常勤講師・非常勤講師として仕事をすることが多くあります。ほかに特別支援学校、学習塾の講師などにつく人も見られます。</p>  
小学校教諭 1種免許	<p>小学校で教員として働くために必要な免許です。</p> <p>*高度な専門性と実践的指導力、豊かな人間性と正しい判断力を備えた人材を育成します。</p> <p>*「教員になりたい!」と強い意志を持てるようにバックアップします。</p>	<p>教科及び教科の指導法に関する科目(小)と教育の基礎理解に関する科目等を履修</p> <p>・教科及び教科の指導法に関する科目 (30単位) (初等科教育法(国語) 初等科教育法(社会) 初等科教育法(算数) 初等科教育法(理科) 初等科教育法(生活) 初等科教育法(音楽) 等)</p> <p>・教育の基礎理解に関する科目等 (29単位) (教育原理 教師論 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 教育実習 等)</p> <p>これ以外に、日本国憲法 スポーツと健康 外国語などの履修が必要です。</p>	↓	<p>実習費:学校 20,000円 介護等体験 15,000円 申請費用:3,500円(1免許につき)</p> <p>↓</p>	↓	<p>教育実習</p> <p>↓</p> <p>申請手続き</p>	<p>採用試験に合格すると、公立の小学校の教員として働くことができます。採用試験に受からなくても常勤講師・非常勤講師として仕事をすることも多くみられます。</p>  
学芸員	<p>博物館が収集・保管する資料を取扱い、それらの専門的な研究をします。</p>	<p>大学で定められた科目を履修し、博物館実習が必要</p> <p>生涯学習概論 博物館経営論 博物館資料論 博物館教育論 等 (必修19単位)</p> <p>・文化系 ・アーカイブ系 ・民俗系 } (2系列以上8単位以上選択)</p>	↓	<p>課程履修費 30,000円 実習費は別途必要</p> <p>↓</p>	↓	<p>博物館実習</p> <p>↓</p>	<p>博物館の学芸員 市町村役場の職員(公務員)として学芸員資格を活かせる 部局での勤務 民間企業等</p> 
図書館司書	<p>図書の関連資料を扱う図書館専門職です。</p>	<p>法令で定められた科目を履修 (必修22単位 選択2単位以上)</p> <p>図書館概論 図書館制度・経営論 図書館サービス論 情報サービス論 等</p>	↓	<p>課程履修費 30,000円</p> <p>↓</p>	↓	<p>↓</p>	<p>図書館司書 市町村役場の職員(公務員)として司書資格を活かせる部局 民間企業等</p> 
学校図書館 司書教諭	<p>小中高校の書簡において必要な資料を収集保存し児童・生徒の教養を育成します。</p>	<p>小中高教諭免許を有し定められた科目を履修 (必修10単位)</p> <p>学校経営と学校図書館 学校図書館とメディアの構成 他3科目</p>	↓	<p>課程履修費 10,000円</p> <p>↓</p>	↓	<p>↓</p>	<p>学校図書館での司書業務</p> 

資格	概要	取得方法	取得のためのスケジュール				履修が必要な科目	資格取得の有効性・備考
			1年	2年	3年	4年		
繊維製品品質管理士 (TES)	消費者に供給される繊維製品の品質・性能の向上をはかったり、繊維製品の品質について、消費者からクレームがでないように、それらの製品の製造や販売を行う企業のなかで活躍するスペシャリストです。	TESになるには日本衣料管理協会の行う認定試験に合格しなければなりません。試験は短答式と記述式の2つに分かれ、短答式では繊維製品の品質管理の業務に必要なとされる基礎知識を、記述式ではその応用力を問われます。科目数は短答式が3科目、記述式が2科目です。 ◆受験料[A] 14,300円(初受験の場合) ◆受験料[B] 11,000円(継続受験の場合) ◆登録料 12,100円(全科目合格者のみ)		5月 出 願			誰でも受験できません。	ファッションビジネスには必須資格です。TESのニーズは高まっています。業界と消費者のハイブリットとして活躍します。家庭科の特に裾野分野で専門的な知識を持って教えることができます。 
色彩検定	色に関する幅広い知識や技能を問う検定試験です。幅広い職種の人が受験しています。	3級:7,000円 2級:10,000円 1級:15,000円 UC級:6,000円 (1級1次試験合格者は2次試験があります)		6月に夏季色彩検定試験			誰でも受験できません。	インテリア・ファッション・グラフィックなどのいわゆるデザイナーや、販売、企画などの職業に有利です。色はあらゆる場面で有効に活用することができます。教員では被服関連、住居関連科目に必要です。各種イベントに力が発揮できます。
文部科学省後援 編物技能検定	編物の基礎技術から素材・色彩・歴史など専門分野まで幅広い知識が求められる検定です。	大学で受験申し込みができ、大学が試験会場になります。 3級:3,300円 2級:5,400円 1級:9,700円			↓ 関連科目あり		誰でも受験できません。 関連科目3年前期に開講	家庭科の専門高校で被服に関する科目を担当するのに有利になります。ファッションショーなどの作品製作指導、クラブ活動、ホームプロジェクト等多くの活動に活かすことができます。
製菓衛生師	「製菓衛生師」は、菓子製造業に従事する者の資質を向上させ、公衆衛生の向上と増進に寄与するための国家資格です。 お菓子を作る技術はもちろん、お菓子の成分から衛生面まで幅広い知識をもったお菓子のエキスパートが製菓衛生師です。	京都製菓技術専門学校の通信教育部に入学し、通信教育と夏・春休みで行うスクーリング学習(専門学校教員による講義と製菓実習)を2年間受講すると、受験資格を取得できます。 国家試験は都道府県毎に年1回行われ、どこでも受験できます。合格すると「製菓衛生師」を取得できます。 費用は257,315円(テキスト代込・4回分納可)です。隔年開講のためR4入学生は1年次入学です。	説明会				レポート提出:14回 スクーリング:59回 ・衛生法規 ・公衆衛生学 ・食品衛生学 ・栄養学 ・食品学 ・社会学 ・製菓理論 ・製菓実習	家庭科の専門高校で食物に関する科目を担当するのに有利になります。クラブ活動、ホームプロジェクト等多くの活動に活かすことができます。 
実務技能検定 秘書検定	仕事をする上での常識、マナー、知識に関する検定試験です。「人柄育成」「職務知識」「一般知識」「マナー・接遇」「ビジネス場面での知識」などが主です。	大学で受験申し込みができ、大学が試験会場になります。1年生後期に関連授業があり、2級合格をめざします。 検定料 2級:5,200円 準1級:6,500円		↓ 関連科目あり			誰でも受験できません。	社会に出て働くために備えておいたほうがよい、知識と技能が身につきます。
消費者力検定	一般的な消費生活で、日常的に見聞きするまたは経験するような内容(9テーマ)を中心に構成し、消費生活に関する基礎的な知識習得に役立ちます。	大学で受験申し込みができ、大学が試験会場になります。3年生夏季課題の確認試験として受験します。 検定料(団体受験) 基礎コース:1,500円 応用コース:2,500円					誰でも受験できません。	消費生活に対する自分の現状を知るとともに、より充実した生活を目指し消費能力を高めることができます。
文部科学省後援 家庭料理技能検定	家族の健康管理に大切な家庭料理に栄養学と料理学を組み合わせた実践的な技術を認定する資格です。文部科学省認定のため全国共通基準で高い評価を受けています。	大学で受験申し込みができ、大学が試験会場になります。実技および筆記試験があります。どの学年でも受験できます(年2回実施)。 検定料 2級 12,000円 3級 9,500円	↓	筆記 6月 又は 10月 実技 9月 又は 12月			誰でも受験できません。	家庭科の食物分野の科目担当に有効な知識と技術を得ることができます。ホームプロジェクト等の指導にも活かす事ができます。
食空間コーディネーター 3級	「食空間コーディネーター」はNPO法人食空間コーディネーター協会が認定する民間資格です。日本の食卓、食空間、生活文化を楽しく、美しく、快適にし心豊かな暮らしを創造できます。あらゆる食の場での食空間をプロデュースできる知識を身につけます。	「フード&テーブルコーディネート論」を履修後終了認定試験を受験します。資格取得認定料 7,500円		↓ 指定科目受講			指定科目履修者は受験することができます。フード&テーブルコーディネート論	家庭科の食物分野の科目担当に有効な知識を得ることができます。毎日の食卓、パーティー、食のイベント企画などにも役立ちます。